

対し折衝セルノ事業主ハ前回今様経済的負担トナルヘキ條  
項ハ一切容認シ難キ旨ヲ回答シ物別レトナレリ

六四月廿二日廣瀬調停課ハ勞賃双方水頭交渉決裂後、第一回  
會見ヲ爲シ尔来五月四日ニ至ル迄數回ニ涉リ調停課ニ於テ  
折衝セルカ事業主側ハ十數名、解雇ハ絶対必要ナリト主張  
シ爭議團側ハ飽逆解雇及対シ力説シ未タ妥協点ヲ發見スル  
ニ至ラス

三勞働者側ハ右ノ結果勞賃直接交渉ニヨリ行訪リヲ打開セム  
トシ五月五日本所菊川町三ノ六六田辺鐵工場事務所ニ於テ  
爭議團側茅野眞好 関家博 渡辺惣藏其、他従業員代表  
九名ト事業主側田辺友男外ニ名ト會見シ勞働者側ヨリ譲リ  
一名ハ解雇ヲ認ムルコト、セルカ事業主側ハ尙相當數ノ解  
雇ヲ爲サハトシテ之レヲ承認セズ更ニ翌六日會見スルコト  
ニシテ打切シリ

ニ經過

一事業主側

一爭議團員ニ於テ不参加職工、自完ヲ訪問罷業参加ヲ強要  
セルラ次ヲ三月三十一日爭議團長石塚栄一外十三名ノ男  
工並各本夕々ヨ外五名、女工計廿名ニ対シ解雇通知ヲ他  
ノ職工ニ対シテハ出勤徳德ノ声明書ヲ發送セリ

二四月四日第二回同六日第三回、出勤勧告書ヲ發送セリ

三四月十六日午前十時ヨリ工場内ニ於テ慰安茶話會ヲ開催  
セリ

六四月二十日前記再三ノ通告ヲ無視シ就業セサル為メ本通  
告狀發送後二日以内ニ就業セサルニ於テハ生業解雇ヲ爲  
ス旨ノ第四回最後勧告書ヲ發送セリ  
六事業主側ハ發生以来委員十六名ヲ以テ作業中ナリシ  
カ其ノ後爭議團ヨリ七名ノ脱退者アリ